

今を知る

遺伝子発現がん検査 シリーズのご紹介

膵がんは、発見・治療が最も難しいがんと言われており、男性の死亡数は胃がんに次ぐ**第4位**、女性では乳がんよりも多い**第3位**です。^{*1} にも関わらず、一般的な健康診断では検査が行われません。採血するだけで**早期の膵がんなどのリスクをチェック**できる、2つの遺伝子発現がん検査をご紹介します。



大切な
家族のためにも、
自分のためにも。



マイクロアレイ血液検査

4つの消化器がん（膵臓、胆道、胃・大腸）を同時にチェック。部位別判定が可能です。

すい メッセージー

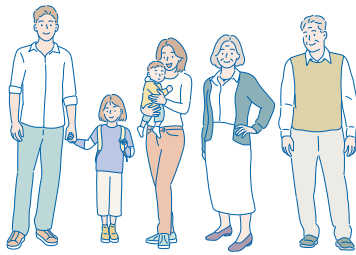
膵がん mRNA 血液検査

膵がんの診断サポートを目的とした、日本初^{*2}の遺伝子発現検査です。

*1 国立がん研究センターがん情報サービス 予測がん死亡数（2023年）

*2 膵がんの診断サポートを目的として、膵がん患者特有の遺伝子発現パターンを検出する体外診断用医薬品を使用した、日本で初めての検査です。

こんな方は^{すい}膵がんにご注意ください



ご家族が膵がんを
発症したことがある



喫煙される方



飲酒される方



肥満の方



糖尿病や
膵臓の病気がある方

検査の特徴

POINT

1



簡単・安心

マイクロアレイ血液検査

膵がんmRNA血液検査

検査方法は、採血するだけ。
検査前の食事制限などありません。

POINT

2



優れた検査精度*3

マイクロアレイ血液検査

膵がんmRNA血液検査

がんの進行度(ステージ)に関わらず良好な感度(がん患者を
がんと判定できる割合)を有しています。

*3 (株)キュービクス社内資料

POINT

3



同時に検査

マイクロアレイ血液検査

膵がんのほか、胆道がん、胃・大腸がんを部位別で判定します。

詳細は、各検査のリーフレットをご覧ください。

検査費用やその他ご不明な点は当院の医師またはスタッフにご相談ください。

医療機関名